

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 3月の講師のお一人は京都大学名誉教授の佐伯啓思氏でした。日本の戦後占領期を明確に意識する視点など独自の戦後史観で知られています。今回はロシアによるウクライナ戦争を文明論の視点から考察頂きました。普遍的な文明が文化を抑圧しているグローバリズムの歪みが、さまざまな反発を生んでいると指摘。特にロシアの場合、ロシア正教の在り方が重要だと話されました。5月号に掲載されます。

4月の新会員をご紹介します。元社会医療法人財団仁医会常務理事の越智芳晴様です。

5月の講師はBNPパリバ証券チーフエコノ

ミストの河野龍太郎氏、「インサイドライン」編集長の歳川隆雄氏、東短リサーチ社長の加藤出氏を予定しています。

◆中部◆ 3月の講師のお一人は東京大学専任講師の小泉悠氏でした。ウクライナ戦争長期化の視点で、「アメリカはエイブラムス戦車100両、F16戦闘機500機をウクライナに投入すれば勝てる戦争だが、第三次世界大戦回避のため、それはしない。一方、制裁受けているロシアでは90年代の国家崩壊を経験しており、現状はそこまではひどい状態にはなく、国民には遠い戦争との意識がまだある」などと話されました。

5月の講師はTBSスペシャルコメンテーターの星浩氏、さわかみホールディングス代表の澤上篤人氏を予定しています。  
(日暮良一)